

日本在宅 医学 学会 雑誌

Vol.16 No.2

The Japanese Academy of Home Care Physicians

●巻頭言 「質・量を担保した在宅医療の発展期」における本学会の役割について	創田 浩志	1
○特集 「小児在宅医療」(責任編集 創田 浩志)		
小児在宅医療の現状と課題	創田 浩志	5
小児在宅医療連携拠点事業から見た小児在宅医療の現状	中村 知夫	13
NICUから在宅医療への移行—特に人工呼吸器装着患者に関して—	森島 浩一、田村 正徳	21
小児専門病院における在宅医療支援の取り組み	高田 直	27
在宅重症心身障害児支援—入所施設での経験から—	松澤佐 正	41
地域包括ケア 小児在宅医療—小児救急医療における小児在宅医療の位置づけ—	梅原 実	51
障害児に対する福祉サービスについて (重症児を主眼に)	又村あおい	61
小児在宅医療に必要な手技—在宅医療実技講習会の試みと意義—	江原 伯晴	79
平成26年診療報酬改定と小児在宅医療	大山 昇一	83
小児在宅医療における家族ケア—親・さょうたい・家族であることを支える—	奈良岡美保	95
小児在宅医療における地域の多職種連携と訪問看護ステーション間の協働に対する取り組み	田中 蓮子	103
寄附者一覧		109
日本在宅医学会雑誌投稿規定		110
投稿謝辞書		111
連絡票		112
編集後記		113